

「ネイティブが実際に使うフレーズ」集

<全 13 レッスン>

ネイティブが日常で必ず使う簡単なフレーズを紹介していきます。ネイティブが実際に会話をするときは、教科書や辞書には載っていないような、もっと崩した言葉だったり、流行語だったり、いくつかの決まりきったパターンで構成されています。最短で「ネイティブと日常会話を話せる英語レベル」を目指すのであれば、まずはフレーズを覚えてしまうのも一つの方法です。知識がなくても会話を成立させるために必要なことが、「ネイティブが実際に使うフレーズを覚える」ということで、教科書に載っていないけど必ず使う簡単なフレーズを覚えておきましょう。

- Lesson 01 あいさつのフレーズ
- Lesson 02 買い物で使えるフレーズ
- Lesson 03 初対面の人に会ったとき使えるフレーズ
- Lesson 04 何かを提案する時に使えるフレーズ
- Lesson 05 質問をする時に使えるフレーズ
- Lesson 06 お礼のフレーズ相手をほめるフレーズ
- Lesson 07 意見を言う時に使うフレーズ
- Lesson 08 「予定」に関するフレーズ
- Lesson 09 「時間」に関するフレーズ
- Lesson 10 「恋愛」に関するフレーズ
- Lesson 11 何気ない一言
- Lesson 12 スラング
- Lesson 13 まとめ

グローバルボイス

<https://en-globalvoice.com/>

Lesson 01 あいさつのフレーズ

親しい人でも、初対面の人でも、「あいさつ」は会話の基本です。「あいさつ」とは言っても、さまざまな言い回しがありますので、自分の気に入ったものをひたすら口になじむまで練習しましょう。

あいさつ

- こんにちは、やあ、どうも etc… Hello, Hi, Hey
- 調子はどう？ 元気？ ご機嫌いかが？ How are you? / How're you doing?
- 調子はどう？ How's it going?
- 最近どう？ 何かあった？ What's happening?
- 調子はどうよ？ What's up? ※ とてもカジュアル。親しい人だけに使いましょう。
- はじめまして。 Nice to see you.
- どうしてた？ いかがお過ごしでしたか？ How have you been?
- 久しぶりだね Long time no see!

あいさつに対する返事

あいさつされたら、相手に聞き返すのを忘れずに。聞かれっぱなしだと相手は「？」となってしまう。ご覧のように色々な言い方がありますので、お好みのものを組み合わせ使ってください。

- 元気(いい調子)だよ、あなたは？ I'm good (thanks), how're you?
- まあ、元気(いいよ)、あなたは？ I'm pretty good, and you?
※ pretty good は good や fine よりもネイティブに一番使われていると思います。
- いいよ、あなたは？ Good, yourself?
- とてもいいですよ、あなたは？ Very well thanks, and you?
- とってもいいよ、あなたは？ Can't complain. How about you?
- 元気です、あなたは？ I'm fine, thank you, and you?

- 悪くないよ、あなたは？ Not bad, how are you?
- まあいいよ。あなたは？ I'm all right / okay, and you?

これらのあいさつは家の中にいても外にいても、誰かと会って会話を始めるときには必ず使います。あいさつは会話の入り口でとても重要です。ポイントは、「考えずに言うこと！」自然にすぐ言えるために、しっかり練習しておきましょう。

会話例

CASE 01

- A. Hi, how are you doing? (こんにちは、元気?)
B. I'm pretty good, and you? (まあまあだね、あなたは?)
A. Good. (元気。)

CASE 02

- A. Hello, how're you today? (やあ、調子はどう?)
B. I'm all right, how about you? (まあいいよ、あなたは?)
A. Not bad. (悪くないよ)

CASE 03

- A. Hey, what's up! (やあ、今日の調子はどう?)
B. What's up! (やあ!)

※ what's up には what's up, もしくは Not much で答えます。これといって理由は特にありませんが、ネイティブは決まり文句のように使いますので、ぜひ覚えてくださいね。

別れ際のあいさつ・相手にかける言葉など

次は、別れ際に使うフレーズをご紹介します。たいてい「じゃあね！」といったニュアンスになりますが、それプラス相手にかける言葉を覚えると会話力がアップしますよ。

- さようなら。 Bye.
- またね。 See you. / See ya.
- またあとでね。 Catch you later.
- またあとでね。 See you later / See you soon.

- またあとで(またその時に)。 See you then.
- 会えてよかった。 Nice meeting you.
- 気をつけてね。 Take care.
- 楽しんで。 Have fun.
- 良い一日を。 Have a nice day. / Have a good day.
- メールしてね。 Text me.
- 連絡してね。 Keep in touch.
- じゃ、行くわ。 I'm off.
- 行かなきゃ I gotta (got to) go ※ 発音は アイガラゴー
- 電話してね Call me.
- 頑張ってね(幸運を!) Good luck.
- ~によろしく Say hello to ~

はっきり次に会う日時が決まっていない場合は、大抵 see you / see ya で済ませる場合が多いです。別れた後、相手に予定などがあるのを知っている場合は“Have fun!” etc...を状況に合わせて言ってください。

会話例

CASE 01

- A. Oops, I gotta go now. (おっと、行かなきゃ。)
B. Okay, see ya (了解、またね。)
A. See ya. (じゃあね。)

CASE 02

- A. Okay, I'm off. (じゃ、行くね)
B. Say hello to Jack, okay? (ジャックによろしくね。)
A. I will. Bye. (了解。じゃあね。)

CASE 03

- A. See you then. (じゃ、あとでね。)
B. All right, bye. (了解、じゃあね。)
A. Bye. (じゃあね。)

CASE 04

- A. Do you have everything? (忘れ物ない?)
B. Yep. (うん。)
A. Have a nice day! (良い一日を!)
B. Thanks, you too. (ありがとう、あなたもね。)

あいさつは会話の入り口です。とても重要ですし簡単なフレーズだけで済んでしまうので必ず覚えましょう。頭の中でいちいち日本語に翻訳してからなおさず、すぐに答えられるようになるとベストです。

Lesson 02 買い物で使えるフレーズ

買い物をするときに

海外旅行の醍醐味というと、観光はもちろんのこと、買い物や食事も重要なウェイトを占めるのではないのでしょうか？ そんな時、聞きたいことを質問したり、ほしい物をオーダーしたりできますか？ そんな時、これからご紹介するフレーズが役に立ちます。

- これをいただけますか？ Can I have this one, please?
- あれをいただけますか？ Can I have that one, please?
- これを10個ください。 Can I have ten of this, please?
- これはおいくらですか？ How much is this?
- 試着してもいいですか？ Can I try it on?
- このセーターの赤はありますか？ Do you have this sweater in red?
- これより小さいサイズのものがありますか？ Do you have a smaller size of this?
- これはおいくらですか？ How much is this?
- これをいただきます。(買います) I'll take this.
- 高い！ That's expensive!
- まけてもらえませんか？ Would you give me a discount?
- 返品したいのですが。 I'd like to return this.
- 返金してもらえますか？ Can I get a refund, please?

Can I～のかわりに Could I～を使うと、より丁寧な表現になりますので覚えておくとよいと思います。また、最後に please をつけくわえることも忘れずに。(ないとなんだかぶっきらぼうな感じになります。)

食事をするときに

何かわからないことがあったら what is this? と勇気を出して聞いてみましょう。単語が頭に出てこなくても大丈夫です。わからないままあいづちをうつと、思いがけないトラブル

ルに発展してしまう事にもなりかねませんので、わからなかったり納得がいかないことがあったりしたときは、臆せず聞きましょう。

- メニューをいただけますか？ Can I have a menu, please?
- 日本語のメニューはありますか？ Do you have a menu in Japanese?
- グラスの赤ワインをください。 Can I have a glass of red wine, please?
- ペットボトルの水をください。 Can I have a bottle of water, please?
- (ホット)コーヒーをください。 Can I have a cup of coffee, please?
- おすすめはなんですか？ What would you recommend?
- あれと同じものをもらえますか？ Can I have the same as that, please?
- この名物料理はありますか？ Do you have any local specials?
- 以上です(もう注文はありません)。 That's it. / That's all.
- これは注文していません。 I didn't order this.
- 注文したものがまだきません。 My order hasn't come yet.
- お勘定をお願いします。 I'd like the check, please.
- これは何の料金ですか？ What is this for?
- 支払いは別々にお願いします。 We'd like to pay separately.
- レシートを下さい。 Can I have a receipt, please?

相手の言っていることがわからないときには“Pardon?” や “What did you say?” と聞くといでしょう。わからない事をうやむやにしないことが英会話上達の秘訣です。

特別 Lesson 効果的なフレーズの覚え方について

買い物フレーズともう一つ、特別レッスンです。効果的なフレーズの覚え方について解説をしたいと思います。早速ですが、効果的にフレーズを覚えるには、以下の手順で行うのがベストです。

- 1.「ネイティブスピーカーが使うフレーズをそのまま覚える」
- 2.「その意味、ニュアンスを「日本語」で完全に理解する」

3.「そのフレーズを感情を込めて言えるようになるまで、そして口に馴染むまで何度も何度も練習する」

この三つを繰り返すことによって、フレーズが自分のものになり、自然と話せるようになります。では1から詳しく解説していきますね。

1 「ネイティブスピーカーが使うフレーズをそのまま覚える」

日本の教育では、「何よりもまず正しい英語を身に着ける」ということに重点が置かれています。ここでいう「正しい英語」というのは、文法など知識を含めてのことです。しかし、そんなことをしてはいつまでたっても英語を話せるようにはなりませんし、何よりつまらなくて続きません(笑)

なので、あまり深く考えずに、まずはフレーズをそのまま覚えて下さい。あと、これも前回のメールでお話しましたが、「ネイティブが実際本当に使うフレーズ」という点にも注意して下さい。いくらフレーズを覚えても、ネイティブが使わないフレーズだったら意味がありません(笑)。

2 「意味、ニュアンスを「日本語」で完全に理解する」

フレーズを覚えたら、次にすることは意味やニュアンスの理解です。ネットの翻訳とか、参考書だと、直訳になるパターンが多いので、こちらも私のレッスンを参考にさせていただければと思います。例えば「I can tell」というフレーズ。直訳すると「私は言うことができます」となります。

しかし、実際にネイティブがどんなニュアンスで使っているかといいますと「わかるよ。」とか「やっぱりね。」という風に使っているのです。これも、なかなか知ることが難しいのですが、レッスンやメールで解説していますので、そちらを参考にさせていただければと思います。

3 「そのフレーズを感情を込めて言えるようになるまで、そして口に馴染むまで何度も何度も練習する」

ただフレーズを眺めているだけでは身に付きません。やはり、多少なりとも練習が必要です。どんな感情、ニュアンスなのかは2で学んでいますので、その気持ちを込めて、何度も何度も練習します。そうすることによって、フレーズが身に付き、とっさの会話でも使えるようになるのです。

それではおさらいです。

- 1.「ネイティブスピーカーが使うフレーズをそのまま覚える」
- 2.「その意味、ニュアンスを「日本語」で完全に理解する」
- 3.「そのフレーズを感情を込めて言えるようになるまで、そして口に馴染むまで何度も何度も練習する」

一人で簡単に出来ますので、ぜひトライして下さい。

Lesson 03 初対面の人に会ったとき使えるフレーズ

初対面の人に会う時

初対面の人と話すのって、緊張しますよね。ましてや英語ともなると……。けど、基本のフレーズさえ覚えていれば緊張も緩和されますよ。人間第一印象が大事なのでしっかり覚えてください。

- はじめまして。 Nice to meet you.
- 私(の名前)は YOSHIO です。 My name is YOSHIO. / I'm YOSHIO.
※ 大抵の場合、Nice to meet you.とあいさつ・握手をし、自己紹介をする、という流れになります。
- 英語は話せますか？ Do you speak English?
- (相手の名前を)なんと発音するのですか？ How do I pronounce your name?
- 私のことは〜と呼んでください。 Please call me ~.
- 以前どこかでお会いしてませんか？ Have I seen you before?
- どこかでお会いしたことがあるようですが。 You look familiar.
- かもしれませんね。 Maybe. / It's possible.
- どこから来たの？(出身はどちらですか？) Where are you from?
- オーストラリアです。 I'm from Australia.
- お会いできてよかったです。 It was nice meeting you.

緊張すると声が小さくなりがちなので注意しましょう。また、発音のことを気にしすぎてもしどろもどろになり、相手にとって余計聞きづらくなりますので、あまり気にせず、大きな声で話すとよいと思います。

初対面の人に聞きやすい質問

日本語でも初対面の人に根掘り葉掘り質問したりはしませんよね？
英語でもそれは同じです。話しやすい内容・聞きやすい質問を上手にを使って、楽しく会話できるように心がけましょう。

- 職業はなに？ What do you do?
- (会社名)で働いています。 I work for～.
- 私は(職業・業種)です。 I'm a ～.
※ 例えば歯科医なら I'm a dentist.
- 日本はどうですか？ How do you like Japan?
- いいところですね。 It's a good place.
- 日本ではどこに行きましたか？ Where have you been in Japan?
- 今はどこに住んでいるのですか？ Where do you live now?
- ～に住んでいます。 I live in ～.
- ここへは遊びで訪れているのですか？ Are you here on vacation?
- ここへは仕事でできています。 I'm here on business.
- 日本にきてもうどれぐらいになるのですか？ How long have you been in Japan?
- 3年ほどです。 About 3 years.
- 日本の生活にはもうなれましたか？ Are you used to life in Japan?

カッコ内や、日本、と書かれているところは職業・会社・国で置き換えられますので使ってみてください。

会話例

CASE 01

- A. Hi, my name is Kentaro Tanaka, nice to meet you.
B. (はじめまして、私は田中けんたろうと申します。)
C. Nice to meet you, I'm Nathaniel Peters. Please call me Nate.
(はじめまして、私はナタニエル・ピーターズです。ネイトと呼んでください。)
A. Okay, please call me Ken. (はい。私のことはケンと呼んでください。)

CASE 02

- A. Hi, I'm Kyoko Nakamura, nice to meet you.
(はじめまして、私は中村キョウコです。)
B. OH, hi! I'm Amanda...have I seen you before Kyoko?

(はじめまして、私はアマンダよ...前にお会いしたことなかった?)

A. Maybe. (かもしれないわね。)

CASE 03

A. Where are you from, Nate? (ネイトはどこ出身?)

B. I'm from California, USA. do you know?

(アメリカのカリフォルニアだよ、知ってる?)

A. Yes, I do. I've been there twice. (うん、知ってるよ。2回行ったことあるよ。)

特別 Lesson 会話のパターンの増やし方について

今日の特別レッスンは「会話のパターンの増やし方」です。この方法は、私がオーストラリアにいる時に最もよくやった練習法で、日々の空いた時間で少しずつ出来ますので、ぜひあなたも試してみてください。

1 その日に起きた出来事などを思い出す。

夜家に帰ってきて、その日に会った友達との会話や、した仕事の内容、出かけた先で起こった出来事、見たテレビの内容など、どんな些細なことでも構いません。それを思い出して下さい。何もなければ、簡単なシチュエーションを想像しても OK です。

2 頭の中でそれを英語の文章にする。

単語の羅列でもいいですし、知っているフレーズがあれば、それを使ってもいいと思います。また、知らない単語があれば途中で日本語を入れてもいいです。例えば、「You'd better take your umbrella with you」と言いたい時、「umbrella」(傘)の単語を知らなかったとします。

その場合は「You'd better take your 傘 with you」で大丈夫です。

3 実際にそれを発声する。

最後は実践です。前回にお伝えした「気持ちを込めて、なりきって話す」と、より効果的です。

この1～3流れ練習することによって、英語での文章の構成力が付き、とっさの会話でも対応が出来るようになります。ただ、最初は思った事を英語の文章で構成するのはとても難しいと思います。

まずは以下のような簡単な挨拶文でやってみましょう。

■例文

A さん: How're you doing? 調子どう～?

B さん: Not bad, yourself? 普通だな。おまえは?

A さん: Can't complain! 絶好調!

このように、簡単な日常のなにげないシチュエーションを想像して やってみましょう。注意として、意味を考える時も、硬い感じでは考えないで下さい。教科書に載っているような

「お元気ですか?」「はい、普通です、あなたは?」

ではダメです(笑)。親しい人と話す時にこんなことはありえないですよ。そんな感じで、簡単な挨拶が出来るようになったら、そこから少しずつレベルを上げていきましょう。そして、この練習は、思いついたときにすぐできますので、出来るだけ数を多くこなしてやってみて下さい。

例えば、テーブルの物を取ろうと思った時、お腹がすいたからご飯を買いに行く時などにそれを英語で言ってみて下さい。日常英会話をマスターするには、そういう小さいことが結構重要だったりします。

一日5分、10分でも日々の積み重ねで、三ヶ月もすればかなり英語に対する理解力は高まりインプットも増えているので、自分が実際にその状況になったときに必ず役に立ちますし、考えなくてもスラスラ喋れるようになるでしょう。

Lesson 04 何かを提案する時に使えるフレーズ

提案

誰かと会話する際、相手に何かを提案することって結構あると思います。そんな時に使える基本のフレーズを色々ご紹介します。

- ～しない？ Do you want to ~?
※ ～したい？と直訳されていることが多いですが、ネイティブのニュアンスとしては「～しない？」という提案のことが多いです。
- (一緒に)～するのはどう？ Why don't you / we ~?
- ～はどう？ How about ~?
- ～しようよ。 Let's ~.
- (一緒に)～しませんか？ Shall we~? ※少し丁寧な言い方。
- ～してみようか。 Let me ~.
- ～してほしい？(～しようか?) Do you want me to ~?
- (一か八か)やってみたら？ Give it a shot.

基本中の基本のとても使えるフレーズなので、～部分に自分の言いたい単語を入れて使ってみてください。次はこれらを使ったさらに具体的なフレーズを紹介していきます。

色々提案してみよう

先ほどご紹介した【提案する】の基本フレーズをさらに具体的、返事をセットにして記載しました。

- これ、シェア(半分こ)しない？ Do you want to share this?
- うん、いいね！ Yes, I'd love to!
- いや、いいわ。 No, thank you.
- 一緒に時間を過ごさない？ Do you want to hang out with me?

※ 特に何をすると決まってもいけないけど・・・という時に使うフレーズです。

- いいよ。 Sure.
- 他にやることがあって。 No, I can't, I have something to do.
- 今夜のパーティにこない？ Do you want to come to the party tonight?
- うん、いくよ！ Yes, I do!
- 考えておくよ。 I'll think about it. ※この場合は大抵 NO です。
- 手伝おうか？ Do you want me to help you?
- (それ) やろうか？ Do you want me to do that?
- お願いします。 Yes, please.
- いや大丈夫、自分で何とかするよ。 No, it's okay. I can handle it.
- 一緒にランチしない？ Why don't we have lunch together?
- イタリアンはどう？ How about Italian?
- ピザとパスタシェアしない？ Do you want to share pasta and pizza?
- いいね。 Sounds good.
- それはいいや。(断り) No, I don't want it.
- (それ) やって見たら？ Why don't you do that?
- (そこに) 行って見たら？ Why don't you go there?
- 先に宿題やったら？ Why don't you do your homework first?
- 何かしようよ。 Let's do something.
- 飲みに行こうよ！ Let's go for a drink!
- いいよ。 Okay.
- 一緒にでかけませんか？ Shall we go out?
- 喜んで。 I'd love to.
- すみません、行けません。 I'm sorry, I can't.
- 貸してごらん。(私がやってみるよ) Let me do it.
- ありがとう。 Thanks.

- いや、大丈夫。 No, thanks.

会話例

CASE 01

- A. Do you want to have dinner with me sometime next week?
(来週一緒に夕飯しない?)
- B. I'd love to. How about Friday? (いいよ、金曜日はどう?)
- A. Sounds great. (いいね。)

CASE 02

- A. Why don't we go for a walk later? (あとで散歩しない?)
- B. I'm sorry I can't. I have to go out. (ごめん、いけないや。出かけなきゃなんだ。)
- A. It's okay. (いいよ。)

CASE 03

- A. Let's do something. I'm so bored. (なにかしようよ、退屈だよ。)
- B. How about watching a DVD? (じゃあ、DVD鑑賞はどう?)
- A. Sounds great. (いいね。)

これらのフレーズをマスターすれば、何かを提案したいときでも堂々と言えますので、ぜひマスターして下さいね！

Lesson 05 質問をする時に使えるフレーズ

相手の言っていることが聞き取れなかったとき

ネイティブと会話をすると、その会話のスピードの速さから、何を言っているのかわからないときもしばしば。そんな時は、このフレーズを使って、聞き返しましょう。

- ごめん、なに？ Sorry?
- なんて言ったの？ What did you say?
- なんて言いました？ Pardon me?
- もう一度言って？ Say that again?
- もう一度言ってもらえますか？ Could you say that again?
- どういう意味？ What do you mean?
- それ、どういう意味？ What does it mean?
- わからない。 I don't get it.
- わからなくなっちゃった。 I'm lost.
- わからない。 I don't understand.

わからないまま、適当に返事したりすると、後で思わぬ事に なりかねませんので、恥ずかしがらず聞き返すことが大切です。そうすると大抵のネイティブは、ゆっくり話してくれますので、ぜひこれらのフレーズを覚えて使って下さいね！

簡単な質問

ちょっと疑問に思った時や、気になった時に使えるフレーズです。

- これは何？ What's this?
- 何のために？ What for?

- どこに？ To where?
- この単語の意味を教えてください？ Do you know the meaning of this word?
- この単語はどう発音するの？ How do you pronounce this word?
- A と B の違いはなに？ What's the difference between A and B?
- これは誰の？ Who does this belong to?
- どれ？ Which one?
- どこへ行くの？ Where are you going?
- 例えば？ For example? / Like what?
- どれくらいの頻度で？ How often?

いろいろな質問

ジャンルを問わず、頻繁に使う質問フレーズです。

- 駅にはどうやっていったら良いですか？ How can I get to the station?
- これはどうやって使うの？ How do you use this?
- どこに住んでいる？ Where do you live?
- どこに行くの？ Where are you going?
- ここはどこ？ Where am I?
- 明日はなにしているの？ What are you doing tomorrow?
- 私に何かできることある？ What can I do for you?
- 今何時ですか？ What time is it?
- これは何？ What's this?
- 飲みものは何がありますか？ What kind of drinks do you have?
- これはあなたのですか？ Is this yours?
- これは私のですか？ Is this mine?

- ここで写真をとってもいいですか？ Is it okay to take a picture here?
- もう少しゆっくり話してもらえますか？ Could you speak more slowly?
- そこへはどうやって行くのか教えてくださいませんか？
- Could you tell me how to get there?

これらのフレーズは、実際の生活の中ではかなりの頻度で使いますので、必ず覚えておきましょう。

会話例

CASE 01

- A. Sorry, what did you say? (ごめん、なんて言ったの?)
- B. I said, “Do you want to go to the mall?” (モールに行く? って言ったんだよ。)
- A. What is the mall? (モールって何?)

CASE 02

- A. Excuse me, what kind of drinks do you have?
- B. (すみません、飲み物は何がありますか?)
- B. We have Champaign, beer, wine and some fruits juice.
(シャンパン、ビール、ワイン、ジュースが数種ございます。)
- A. Okay, can I have a beer then? (では、ビールをいただけますか?)

CASE 03

- A. Where are you going? (どこに行くの?)
- B. I’m going to swim, do you want to come? (泳ぎに行くの、一緒にどう?)
- A. Sure. (もちろん。)

日常生活で質問をする機会は何度もありますので、ぜひマスターして下さいね！

Lesson 06 お礼のフレーズ相手をほめるフレーズ

親しい人へのお礼

家族や友人などの親しい人に、お礼を言いたい時、助けられた時などに、これらのフレーズを使って感謝の気持ちを伝えます。

- ありがとう！ Thanks!
- 本当に助かったよ、ありがとう！ You saved my life, thanks a lot!
- 君のおかげで、仕事が無事に済んだよ、ありがとう！ I owe you one, thanks!
- 君にはとっても感謝してるよ！ Thanks a lot.
- プレゼントありがとう。とっても嬉しいよ！ Thanks for the gift. I'm so happy.
- 今日はとても楽しかったよ、ありがと！ I had so much fun today, Thanks!
- あなたと友だちになれてよかったよ、これからもよろしくね！
- It's been so nice being friends with you, thanks! Let's keep in touch.
- 本当に助かりました。 You've been very helpful.

上のお礼に対する返答

自分がお礼を言われた場合は、これらのフレーズを使って返答をします。

- こちらこそ、ありがとう！ Thank YOU, too.
※ you を強調して言うようにしてください。
- 困ったときはお互い様！ I just did what I could, nothing more.
- いえいえ！ No problem.
- どういたしまして。 You're welcome.
- 喜んでもらえてなによりだよ！ I'm glad to hear that.
- 僕も楽しかったよ！ありがとう、また会おうね。 Me too, see ya!
- 私も君と一緒に楽しかったよ！ I had such a good time with you.

- 頑張ったんだからもっと褒めてよ！ なーんてね。Praise me more! ...just kidding.

丁寧な言い方

丁寧なお礼です。目上の人や、あまり親しくない人の場合はこちらを使いましょう。

- どうもありがとうございました。 Thank you very much.
- 大変お世話になりました。ありがとうございます。I appreciate all you've done for me.
- ようこそいらっしゃいました。 Thank you for coming.

丁寧なお礼に対する返答

- どういたしまして。 You're very welcome.
- いえいえ、こちらこそ、お世話になりました。 That's what I have to say. Thank you.
- お招きありがとうございます。 Thank you for inviting me.

相手をほめる(容姿)

相手の見た目をほめるフレーズです。会話のきっかけにもなりますので、ぜひ覚えて下さい。

- その髪型、とっても似合ってるよ！ I like your hairstyle. It looks good on you!
- その洋服素敵だね！ Your outfit looks really good on you.
- きみは本当に美人だな。 You are so beautiful.
- あなたってなんてイケメンなの！ What a hot guy you are!
- 彼、背が高いし、スタイル抜群だね！ He is tall and looks great!
- ジョニーデップみたいでカッコイイね！ He looks great, like Johnny Depp!
- 娘さん、お母さんそっくりで本当に美人ですね！ Your daughter is very beautiful.
She really looks like her mom!

- その時計すごいね！高かったでしょ？ Wow, you have a gorgeous watch, must be expensive, huh?

相手をほめる(中身)

今度は、相手の中身をほめるフレーズです。

- 君は本当に優しいね。 You're very kind.
- あなたって、本当に仕事が出来て尊敬しちゃうわ。 You're amazing at work. I admire you!
- やったね、君ってすごいよ！ Good job! I'm proud of you!
- 本当君ってピアノがうまいね！プロ並みだよ！ You're a great pianist, like a professional!
- 君ってパソコンに詳しいんだね。 You know quite a lot about pcs.
- いつもテストで一番なんて、君はすごいなあ。 How amazing you are to be number one in exams all the time.
- 優しいし、お金持ちだし、彼ってサイコー！ He's kind and rich as well, what a perfect guy!
- 君にはいつも脱帽するよ。 I take my hat off to you.

感謝の気持ちを伝えたり、お礼を言ったりすることは、とても大切です。是非しっかりと覚えて下さい。

Lesson 07 意見を言う時に使うフレーズ

意見を言う

導入自分の意見を言いたい時、反論したい時などに使えるフレーズです。文章

- わからない、見当がつかない。 I have no idea.
- さっぱりわからない。 I have no clue.
- 意味が分からない。 I don't get it.
- 何言ってるの？ What are you talking about?
- お任せします。 It's up to you.
- その話、のった！ I'm in!
- (なるほど)意味がわかったよ。 That makes sense.
- (物事の状況など)場合によるな。 It depends.
- 確かに。だろうね。 I bet.
- 考えておくよ。 I'll think about it.
- もったいないなあ。 You are missing out.
- ね、言ったでしょ？ See? I told you.
- 全然違うよ。 You're way off.
- そうだといいな。 I hope so.

自分の状態について話す

自分の今の環境、体の状態、立場などを伝えるときに使えるフレーズです。

- 終日ひまだよ。 I'm free all day.
- 私はあなたの味方だよ。 I'm on your side.
- 困ってるんだ。 I'm in trouble.

- 私のせいです。 It's my fault.
- (私は)かまわないよ。 I don't care.
- 気分が良くない。 I don't feel well.
- 具合が悪い。 I feel sick.
- 腹ペコ！ I'm starving!
- ※hungry よりも空腹度合いが強い印象です。
- 降ります！ I have to get off! ※満員のバスや電車などで降りたい時に
- 今行くよ！ I'm coming!
- 感動した。 I was moved.
- ここにくるように言われたのですが。 I was told to come here.
- 君がいなくなると寂しくなるよ。 I'll miss you.
- 来週引越しします。 I'm moving next week.

命令文の形がふさわしいフレーズ

強く伝えたい時に使うフレーズです。

- ここにいなさい。 Stay here.
- 許して。 Forgive me.
- 私を信じて。 Trust me.
- 私のことは放つといて。 Leave me alone.
- 落ち着いて。 Calm down.
- 私に任せて。 Leave it to me.
- 楽しんで。 Enjoy yourself.
- こう考えてみたら？ Look at it this way.
※ 意見を別の観点で言うきっかけの一言。
- 食べてみて。 Have a bite.

会話例

CASE 01

A. Do you have any plans for next Sunday? (今度の日曜日、なにか予定ある?)

B. No, I'm free all day. (いや、終日暇だよ。)

A. Do you want to go shopping with me? (一緒に買物いかない?)

CASE 02

A. Hey, why don't you dance? (ねえ、なんで踊らないの?)

B. It's okay. I'll just watch. (いいの、みているだけで。)

A. Oh, you're missing out! (もったいないなあ。)

CASE 03

A. It's very good, have a bite. (これ、とても美味しいよ、食べてみて。)

B. Thanks...wow it's really good! (ありがとう ...ほんとにすごくおいしい!)

A. Isn't it? (でしょ?)

これらのフレーズを覚えると、自分の意見をどんどん言えるようになり、一歩踏み込んだ会話ができるようになりますので、ぜひ覚えて下さいね!

Lesson 08 「予定」に関するフレーズ

予定をたてる

誰かを誘って、予定を立てたい時に使えるフレーズです。

- 土曜日なにしてる？ What are you doing on Saturday?
- 土曜日に何か予定ある？ Do you have any plans for Saturday?
- この週末は暇？ Are you free this weekend?
- 今日の午後はなにか予定ある？ Are you doing anything this afternoon?
- 今日は忙しい？ Are you busy today?
- いつだったら都合がいい？ When is it convenient for you?
- いつにするか決めて。 You decide when.
- 何時だったら来られる？ When can you come over?
- 夏休みはいつから？ When does the summer break start?
- お茶でも一緒にどうですか？ Do you want to have some coffee with me?
- 一緒にでかけませんか？ Do you want to go out with me?
- 一緒に夕飯をいかが？ How about having dinner with me?
- 野球を一緒に観に行かない？ Why don't we go watch a baseball game?
- ハイキングはどう？ How about hiking?
- 予定を立てようよ。 Let's make a plan.

予定をたてることについての返事例

誰かに誘われたときに使えるフレーズです。

- すみません、予定が入っているんです。 Sorry, I'm tied up.
- ごめんなさい、忙しいんです。 I'm sorry but I have other plans.

- 忙しいんだ。 I'm busy.
- いつでもいいよ。 Whenever.
- 一日中ひまだよ。 I'm free all day.
- あなたに合わせるよ。 Whenever you are free.
- どの日でもいいよ。 Any day is okay.
- 何曜日でもいいよ。 Any day of the week is fine.
- 10日はどう？ How about the 10th?
- 金曜日の3時以降ならいいよ。 Friday after 3 p.m. sounds good.
- その日はダメなんだ。 That's a bad day for me.
- その日ならいいよ。 That day is fine.
- ぜひとも。 I'd love to.
- 誘ってくれてありがとう。 Thanks for asking me out.

会話例

CASE 01

- A. What are you doing on Saturday? (土曜日、なにしてる?)
B. I'm free all day, why? (一日暇してるよ、なんで?)
A. Why don't we go watch a baseball game? (野球観に行かない?)

CASE 02

- A. Are you free this weekend? (今週末暇?)
B. Sorry I'm busy, why? (ごめん、忙しいんだ、なんで?)
A. It's okay. (別にいいのよ。)

CASE 03

- A. When can you come over? (いつ来れる?)
B. After 3 p.m. (3時以降かな?)
A. All right. (了解。)

誰かを誘いたい時、また、誘われたときに困りませんので、ぜひ覚えて下さい。

Lesson 09 「時間」に関するフレーズ

時間に関するフレーズ

時間に関して、主に独り言のようにつぶやく時に使えるフレーズです。

- 時間ぴったり Right on time.
- もうこんな時間か。 Look at the time!
- 1日24時間じゃ足りないよー。 24 hours in a day is not enough.
- やばい、遅刻だ！ Oh no, I'll be late!
- 目覚ましを8時にセットしなきゃ。 I gotta set the clock for eight.
※ gotta = got to = ~しなきゃ
- 少しの間集中して本を読もう。 I will focus on reading books for a little while.
- 10時間も寝ちゃった。 Gee, I slept for 10 hours!
- あと五分でドラマ始まっちゃう！ Wow, the show is starting in 5 minutes!

質問 会話

時間に関して、誰かとの会話の中で使えるフレーズです。

- 今何時？ Do you have the time?
- 明日は7時に起こしてもらえますか？ Can you wake me up at 7 tomorrow morning?
- 明日正午に駅でね！ I'll meet you at the station at noon!
- 大阪行きの新幹線のチケットを取っておいたよ。 I bought a Shinkansen ticket for Osaka.
- 大阪に着くのは3時だから。 We'll arrive at Osaka station at 3.
- 遅れるなよ！ Don't be late!
- ごめん、つのが20分遅れるよ。 Sorry, I'll be 20 minutes late.

- 明日は仕事のあと 18 時から 22 時までが懇親会だから、帰るのは 24 時すぎだね。 Tomorrow, I have to join a social gathering after work from 6 p.m. till 10 p.m., so I guess I'll be home after midnight.

時計に関するフレーズ

時間そのものの表し方も、英語では何通りもあります。ぜひ覚えて下さいね。

- 1 時ぴったり It's exactly 1.
- 5 時 20 分 20 past 5.
- 12 時半 Half past 12.
- あと 10 分で 2 時です。 10 to 2.
- 7 時 5 分前 5 to 7.
- 6 時 45 分 Quarter to 7.

会話例

CASE 01

- A. Look at the time! (もうこんな時間!)
- B. 24 hours in a day is not enough. (一日 24 時間じゃ足りないね。)
- A. I think so. (私もそう思う。)

CASE 02

- A. Do you have the time? (今何時ですか?)
- B. Yes, it's quarter to 10. (10 時 15 分前です。)
- A. Thank you. (ありがとうございます。)

CASE 03

- A. Can you wake me up at 6 tomorrow morning? (明日 6 時に起こしてもらえますか?)
- B. Sure. (わかったよ。)
- A. Thanks. (ありがと。)

時間に関するフレーズは意外と毎日使うフレーズですので、ぜひ覚えて下さい!

Lesson 10 「恋愛」に関するフレーズ

思いを伝える。告白する時

好きな人が出来て、その人に自分の思いを伝える時に使えるフレーズです。ぜひ覚えてどんどん使ってください。

- 君のことがずっと好きだったんだ。 I've been in love with you for a long time.
- 僕と(私と)付き合ってもらえませんか？ Will you go out with me?
※ 英語では日本語で告白するときの「付き合って」に等しい言葉はない。
- 君のこと、大好きだよ！ I love you lots!
- 本当に愛してるよ！ I really love you!
- 私のこと、どう思う？ What do you think of me?
- 一目ぼれしちゃった！ It was love at first sight!
- 君が必要だ！ I need you.
- 君は私を幸せな気持ちにさせてくれるよ。 You make me happy.

告白されたときの返答 OK の場合

誰かに告白されて、付き合ってもいいと思ったときに使うフレーズです。

- うん、付き合ってもいいよ！ I'd love to.
- 実は私もあなたのこと気になってたんだよね。 I've been interested in you, too.
- 本当！うれしい！ Really? I'm so happy to hear that!

告白されたときの返答 NG の場合

相手があなたの好みではなかった場合、または別の事情によりお断りをしないとイケないときに使えるフレーズです。

- あなたのことは友達としか思えないな。 I like you just as a friend.

- ほかに好きな人がいるんだ。 I'm in love with someone else.
- ごめんなさい、あなたとは付き合えません。 I'm sorry, I can't go out with you.
- ごめん、私実は付き合っている人がいるんだ。 Sorry I've been seeing someone.
- あの人は私の好みじゃないの。 He / she is not my type.

デートに誘う

付き合っている人に対して、または気になる人をデートに誘うときに 使えるフレーズです。

- アドレス教えてもらえる？ Can you give me your e-mail address?
- 来週の日曜、一緒に映画でもいかない？ Why don't we go see a movie next Sunday?
- よかったら今度一緒にご飯いかない？ Why don't you go out with me for dinner?
- いつなら空いてるの？ When are you free?
- デートしようよ！ Why don't we go out?
- 明日晴れたらドライブでも行こうよ！ Let's go for a drive if it's sunny tomorrow.

トラブル

男女間で起こるケンカやトラブルの時に使えるフレーズです。

- あなた、浮気したでしょ！ You cheated on me!
- なんで私のこと、信じてくれないの！ Why don't you ever trust me?
- もう別れよう。 We're done. / Let's break up.
- もう顔も見たくない！ 浮気するなんて、信じられない！ I don't want to see you anymore! I can't believe you cheated on me!
- 同棲生活はもうたくさんだ！ I don't want to live together anymore!
- ごめん、ほかに好きな人が出来ちゃった。 Sorry, I've been interested in someone else.

会話例

CASE 01

A. So, what do you think of me? (で、私のことどう思っているわけ?)

B. What? (何だって?)

A. Are you interested in me? (私のこと、好き?)

CASE 02

A. I've been in love with you for a long time. (君のことがずっと好きだったんだ。)

B. Really? (本当に?)

A. Yep. (うん。)

CASE 03

A. You cheated on me! (浮気したわね!)

B. So what!? You cheated on me, too. (だからなんだよ、君だってしただろ。)

A. We're done! (別れましょう。)

教科書通りの英語では気持ちは伝わりません。これらのネイティブフレーズを覚えて役立ててください！

Lesson 11 何気ない一言

何気ない一言

特に深い意味はないつぶやきや、とっさに言ってしまうフレーズです。

- おっと Oops!
- (軽い感じで)あ、ごめん Oops, sorry!
- たぶんね Maybe.
- 暇だな I'm bored.
- やーめた Done!
- 面倒くさいな。 I don't want to do this. / I don't like to do this.
- やだなー No!
- わ、おいしそう！ Looks yummy!
- 痛っ！ Ouch!
- 眠い I'm sleepy.
- マジで？ Really? Seriously?
- すごいウケる！ That's hilarious!
- おっす Hey.
- まずっ Yuck!
- 臭い Stinks!
- 疲れたー I'm tired.
- やった！ Did it! / Made it!
- びっくりした！ Oh my god!
- ウソだろー No way!
- クッソー Shit! / Damn it!
- ※誰かがくしゃみをしたら Bless you!

会話例

CASE 01

A. Oops, sorry! (おっと、ごめん！)

B. It's okay. (いいよ。)

CASE 02

A. Hey, I'm so bored. (ねえ、超暇なんだけど。)

B. Me, too. Do you want to go out? (私も。出かける？)

A. Yeah, let's go. (うん、そうしよう。)

CASE 03

A. I'm so sleepy. (超眠い。)

B. Take a nap. (昼寝しなよ。)

A. I will. (そうするわ。)

とっさの一言が自然と英語で出るようになったら、ネイティブ同然です！ぜひ自然に使えるよう、何度も練習して下さいね！

Lesson 12 スラング

スラング

- ふざけんなよ！ Fuck!
- クソッ・最悪 Shit!
- ～ドル ～Bucks
- ※ 1ドルの時は buck.
- 相棒・友達 Buddy / Dude
- ちくしょう！ Damn it! damn it の略
- きもっ！ Gross!
- 最悪だな It's like hell.
- 最高！ Kick ass.
- くたばれ！ Screw you!
- (人前でいちゃつくこと)
- PDA ※Public Displays of Affection.
- マヌケ・バカ Retard
- 変なの・奇妙だな Weird
- トイレ(小) Number 1
- トイレ(大) Number 2

会話例

CASE 01

- A. Oh shit! (最悪!)
- B. What? (どしたの?)
- A. I forgot my cell phone! (携帯忘れた!)

CASE 02

- A. Good? (美味しい?)
B. Yuck! (まずっ!)
A. Oh boy. (あらら。)

CASE 03

- A. It was only 5 bucks! (これ、たったの5ドルだったんだ。)
B. Are you serious? That's fuckin' cheap! (マジで? 激安!)
A. Yeah. (だね。)

【fuckin' の使い方】

こんなことを書くと「下品」と思われるかもしれませんが、**Fuck** という単語は英語の中でも最も意味の多い、そして多く使われる単語の一つです。ネイティブがどのような意図で使っているのかを知るためにも、覚えておく必要がありますので、下品と思わずに、お読み下さい。

まず、大前提として、**fuck** を見ず知らずの人に使うのは絶対にやめましょう。極端な話、命の保障はできません。特に日本人は下に見られているので、使うのは友達か独り言だけにしましょう。

それでは使い方です。

私がパブで知り合ったオーストラリア人は

「You asked me where you can put fuckin' in sentences? You can put it fuckin' anywhere!」(fuckin' を入れる場所はどこだって? どこでもいいんだよ!)

と言っていました(笑)。このように強調したい単語の前に **fuckin'** を入れます。

たとえば、食べたラーメンがものすごくマズかった時は

「These noodles are fuckin' awful. 」

とか、「傘持ってくるのを忘れた! 」といたいときは

「Shit! I forgot to take my fuckin' umbrella.」などです。
このようにどちらかという単語を修飾するように使います。
fuckin'+名詞、fuckin'+形容詞 など

また、動詞を修飾したいときには **the fuck** を使います。

例:「What the fuck is that?」(なんだそれ?)

出かけるときにお気に入りのバックが見つからないとします。そんなときはこのように言っちゃいましょう!

例:「Where the fuck is my fuckin' bag?」(おれのくそバックはどこにありやがる?)

また、気に入らないことがあったら

例:「What the fuck are you fuckin' doing?」(てっめえ何さらしとんじゃい!(的な感じですよ。))

このように友達と話しているときに使うと結構楽しいですし、ネイティブもかなり使いますので覚えておきましょう。

また、fuck じゃちよつと重いなと思ったときには **the hell** がおすすめ。Fuck よりは自然に使えます。

例:「What the hell is that?」(なんだあれ?)

感じは掴んでいただけましたか? 多くの教科書や参考書には、こういった事は書いていませんが、これを知るとはとても大切です。ネイティブと会話を楽しむのであればむしろ必須とも言えます。ただし、理解するのは大事ですが、実際には使わないようにした方が無難です。くれぐれも使わないように! ?

Lesson 13 まとめ

今までご紹介してきたフレーズを使っての会話例です。実際に会話をする際の参考にして下さいね！

初対面 自己紹介など

- A. Hi, my name is Yoshio. Nice to meet you. (はじめまして、ヨシオです。)
- B. Nice to meet you, too Yoshi. I'm Amanda Cruise. Call me Mandy.
(はじめましてヨシオ。私はアマンダ クルーズ。マンディーって呼んでくださいね。)
- A. Okay. So Mandy, where are you from? (了解。で、マンディーはどこ出身?)
- B. I'm from the U.S. (アメリカよ。)
- A. Which state? (何州?)
- B. California. (カリフォルニア。)
- A. I've been to Los Angeles twice. (僕、ロサンゼルスに2回いったことがあるよ。)
- B. Oh, really? Did you have a good time? (ほんと? 楽しかった?)
- A. Yeah, I was there on business, but I enjoyed it a lot.
(うん、仕事で行ったんだけど、楽しかったよ。)
- B. That's good. By the way are you Japanese, Yoshio?
(それはよかった。ところで、ヨシオは日本人よね?)
- A. Yes, I am. (うん、そうだよ。)
- B. You speak very good English. (とっても英語が上手ね。)
- A. Thanks. So, how do you like Japan? (ありがとう、で、日本はどう?)
- B. It's a very good place. I love Japan! (とてもいいところね、日本大好き!)
- A. Oh, that's good. How long have you been in Japan for?
(そりゃよかった。日本にきてどれくらいなの?)
- B. About 2 years. (約2年かな。)
- A. Are you used to life in Japan? (生活にはもうなれた?)
- B. Yeah, I think so, but my Japanese hasn't improved very much.
(慣れたけど、日本語がちっとも上手にならなくて。)
- A. How come? (なんで?)
- B. Because most of my co-workers are American.
(ほとんどの同僚がアメリカ人なのよね。)

- A. Oh boy, so you don't have any chances to speak Japanese then.
(そっか、じゃあ、日本語を話すチャンスがないんだね。)
- B. That's right. I want to have an opportunity to speak Japanese.
(そうなの。日本語を話す機会がほしいのよ。)
- A. I have a party tomorrow night with my friends, they are all Japanese... why don't you come and make some Japanese friends?
(明日の夜友達と...皆日本人なんだけど飲み会があるんだ、よかったらこない？日本人の友達できるよ。)
- B. Really? Sounds great! Thanks! Can I take my friend with me, too?
(本当に？すごく嬉しい、ありがとう！友達も連れて行ってもいい？)
- A. Of course. Can I have your phone number and email address? I'll let you know the details of the party.
(もちろん。じゃあ電話番号とメールアドレスを教えてもらってもいいかな？詳細教えるよ。)
- B. Sure. My phone number is 12345... and the address is...
(うん。電話番号は12345...で、メールアドレスが...)
- A. Sorry, could you say that again? (ごめん、もう一度言ってもらえる?)
- B. Okay.12345... (うん。12345...)
- A. All right. I'll give you my phone number and address, too.
(了解、僕の電話番号とアドレスも教えるよ。)
- B. Thanks. (ありがとう。)

友人との何気ない会話

- A. Hi Yoshio, how're you today? (やあ、元気?)
- B. Pretty good, and you? (まあね、そっちは?)
- A. Good. (うん、元気。)
- B. I really like your hairstyle! It looks good on you!
(髪型いいじゃない、似合ってるよ!)
- A. Really? Thanks! (本当に？ありがとう!)
- B. Hey, have you had dinner? (ところで、夕飯食べた?)
- A. Not yet, you? (まだだよ、君は?)
- B. I'm starving to death. Let's go have dinner.
(お腹すきすぎて死にそう。食べに行こうよ。)

- A. Sure. (いいよ。)
- B. Have you tried the new restaurant near the park?
(公園の近くにできた新しいレストラン行ったことある?)
- A. Yeah, it's a great restaurant! (うん、いい店だったよ!)
- B. Good, let's go there. (そりゃよかった、じゃいこうよ。)
- A. All right, sounds good. (いいね、いこう。)

友人との何気ない会話 (レストランにて)

- Waiter. Are you ready to order? (ご注文承りましょうか?)
- A. Yes, I'd like to have a Chef's salad with French dressing and cheeseburger, please.
(はい、シェフサラダをフレンチドレッシングで1つと、チーズバーガーをお願いします。)
- Waiter. Okay, how about you? (かしこまりました。そちら様はいかがでしょう?)
- B. Ahhh can I have a cob salad and pasta with lemon butter sauce, please?
(えーっと、コブサラダとレモンバターソースのパスタを1つください。)
- Waiter. Sure. What kind of dressing would you like for your salad?
(かしこまりました。サラダのドレッシングはいかがなさいますか?)
- B. What do you recommend? (なにがおすすめてですか?)
- Waiter. I recommend Italian (イタリアンをおすすめします。)
- B. Okay I'll try that. (ではそれをお願いします。)
- Waiter. Anything to drink? (お飲み物はいかがなさいますか?)
- A. Oops, we totally forgot about the drinks!
(ちよっと、飲み物頼むのすっかり忘れてた!)
- B. Why don't we share a bottle of wine? (ワインをボトルで頼んでシェアしない?)
- A. Sounds good. (いいね。)
- B. Can we have a wine list? (ワインリストをいただけますか?)
- Waiter. Certainly (もちろん。)

友人との何気ない会話 その2

- A. What time is it now? (今何時?)
- B. It's quarter to 10. (10時15分前だよ。)

- A. Oh shit! Are you serious? (最悪！マジで?)
B. What's wrong? (どうしたの?)
A. I had an appointment with Dr. Davis at 9:30! Damn it!
(デイビス先生のところに9:30に行くって約束してたんだ、最悪だ！)
B. Why don't you call him? (電話したら?)
A. Yep...my fuckin' cell phone's dead! What the hell!
(うん...マジかよ、俺のクソ携帯充電が切れてやがる！)
B. Easy man. You can use my phone. Here you go.
(落ち着けよ、ほら、俺の携帯かしてやるから。)
A. Oh, thanks. (ありがとう。)
B. No problem. (うん。)
A. Oops, no answer. I hope he isn't mad at me.
(留守みたいだ、怒ってなきやいいけど。)
B. He isn't. (怒ってないよ。)
A. Do you think so? (そう思う?)
B. Yeah, trust me. (うん、信じろって。)
A. Okay, cool. (わかった。)

今までご紹介したフレーズを使ってネイティブの日常によくありがちな会話例を作ってみました。こうして読んでみると意外に簡単な、しかも短いフレーズで会話が成り立っていることにお気づきいただけるのではないのでしょうか？

また、同じフレーズがいくつか出てくる事もわかりいただけると思います。日本語でもそうだと思いますが、相手との何気ない会話では一人の人が独壇場でずーっと話していることってないですよ。英語でも同じです。

ですので、「ネイティブがよく使っているフレーズ」さえ覚えてしまえば、簡単に会話を楽しむことができるのです。そのためにはやはり同じフレーズを繰り返し練習して、いつでも口から出せるようにしておくことが重要です。

練習しているうちに、テレビや映画などで「あ、このフレーズ知ってる！」と思うことがきっとあるはずです。すると、さらにそのフレーズが頭の中に記憶となって残り、体が覚えてくれることでしょう。